


議題1 大分市長寿応援バス事業の概要について

1. 事業の概要

目的	多年にわたり社会の発展に貢献してきた高齢者に対し、気軽に外出ができる環境をつくり、健康の維持増進や積極的な社会参加の促進を図り、生きがいを持って生活ができるよう支援することを目的とする。
対象者	市内に1ヶ月以上住所を有する下記の者 ① 70歳以上の人 ② 運転免許を保有していない65歳～69歳の人 ※ ただし、現在経過措置により令和5年度の対象者は以下のとおり。 ① 69歳以上の人 ② 運転免許を保有していない65歳～68歳の人
利用料金	市内一律1乗車につき150円 ※市が発行する「長寿応援バス乗車証」を提示し、現金で支払
対象交通機関	市内の路線バス（大分バス株、大分交通株、臼津交通株） ※ 市外のバス停で乗り降りする場合は、市外区間は通常運賃
乗車証の交付方法	<ul style="list-style-type: none"> 対象者にご案内ハガキを郵送 希望者は市役所本庁舎及び各支所等で申請書を提出 「長寿応援バス乗車証（顔写真入り）」を交付 （本庁舎は即日、支所等は約1週間で郵送）
乗車証	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(表面)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(裏面)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>乗車証の使用上の注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 市内の路線バス利用の際、バスから降りるときに乗車証を乗務員に提示すると運賃が150円(現金)になります。 (バスに乗るときは、必ず整理券を取ってください。) 市外から市内に、市内から市外に乗るときは、市外部分は通常運賃になるため、一旦精算する必要があります。 高速バス・特急バス・イベントバス等には使用できません。 乗車証は、本人のみ使用できるものです。 身分証明書としての効力はありません。 障がい者割引との併用はできません。 資格が無くなったとき(市外転出等)、使用しなくなったときは長寿福祉課・各保健福祉センター・各支所へお返しください。 </div> </div> </div>
乗車証交付者数	90,865人（交付率 約78%） （人口 68歳以上：116,469人、70歳以上：104,265人） ※R5年3月末現在

2. 事業費

令和5年度予算額 委託料 250,000千円

- 委託料＝（平均運賃－150円）×利用回数＋事務手数料
- 毎年、バス事業者（大分バス株、大分交通株、臼津交通株）と契約締結

3. 事業の変遷

年	月	内容
H16	6月	<p>○ 高齢者ワンコインバス事業開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者は70歳以上 ・ 利用料金は100円 ・ 委託料は市とバス事業者の協議により決定（平成16、17年度）
H17	5月	<p>○ 佐賀関、野津原合併（平成17年1月）による市域拡大のため、利用料金を三段階に見直し</p> <p>通常運賃390円まで・・・・・・・・利用料金100円 通常運賃400円～590円・・・・・・・・利用料金200円 通常運賃600円以上・・・・・・・・利用料金300円</p>
H18	1月	<p>○ ワンコインバス専用磁気カードを導入</p> <p>利用実績（利用回数・利用区間）の把握が可能となる</p>
	4月	<p>○ 委託料は、磁気カードの利用実績に基づき、通常運賃と利用料金の差額分を支払い（平成22年度まで）</p>
H23	3月	<p>○ バス事業者のICカード利用導入に伴い、ワンコインバス専用磁気カードを廃止</p>
	4月	<p>○ 利用料金を100円に変更</p> <p>○ 毎月3日間（平日・土曜日・日曜日）の利用者数を乗務員がカウントして、年間の利用回数を推計</p> <p>○ 委託料は、市とバス事業者の協議により決定（令和元年度まで）</p>
H25	7月	<p>○ 対象者を65歳以上に拡大</p> <p>○ 委託料は、65歳に拡大した場合の影響額を年額4,000万円と試算し、7月から3月の9ヵ月分として3,000万円増額</p>
H26	4月	<p>○ 委託料は、消費税の見直しに伴い増税分を追加</p>
H30 ～R1	10月	<p>○ 「大分市高齢者ワンコインバス事業のあり方検討会」開催（全5回）</p> <p><決定事項（令和元年10月から）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名称を「長寿応援バス事業」とし、利用料金を150円に変更 ・ 対象年齢を70歳以上とし、令和6年度にかけて段階的に引き上げ（運転免許保有していない方は65歳以上から対象） <p>○ 長寿応援バス事業開始</p>
R2	4月	<p>○ 対象者：66歳以上、運転免許保有していない65歳</p> <p>○ 毎月4日間（平日2日・土曜日・日曜日）の利用者数を乗務員がカウントして、年間の利用回数を推計</p>
R3	4月	<p>○ 対象者：67歳以上、運転免許保有していない65～66歳</p>
R4	4月	<p>○ 対象者：68歳以上、運転免許保有していない65～67歳</p>
R5	4月	<p>○ 対象者：69歳以上、運転免許保有していない65～68歳</p>
R6	4月	<p>○ 対象者：70歳以上、運転免許保有していない65～69歳（予定）</p>

4. 事業対象者数、乗車証交付者数等の推移

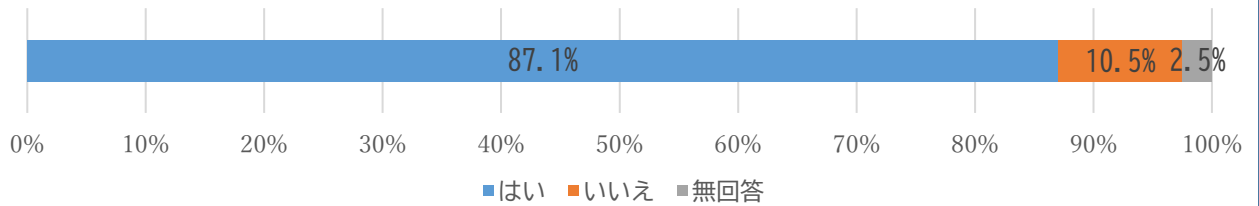
: 事業対象者

年度	事業対象者数（年度末高齢者人口）			乗車証 交付者数 （人）	利用料金 （円）	利用回数 （回）	委託料 決算額 （千円）
	65歳以上 （人）	経過措置 （人）	70歳以上 （人）				
H16	79,100	—	56,224	33,666	100	—	200,000
H17	82,004	—	58,471	39,875	100・200・300	382,305	300,110
H18	85,400	—	60,606	42,328	100・200・300	1,742,232	253,655
H19	88,388	—	63,007	44,783	100・200・300	1,858,232	264,015
H20	91,605	—	64,787	46,686	100・200・300	1,896,803	267,334
H21	94,415	—	66,646	48,574	100・200・300	1,874,040	264,170
H22	95,796	—	68,968	50,865	100・200・300	1,824,822	258,899
H23	99,090	—	71,749	53,461	100	2,367,232	260,000
H24	103,995	—	74,135	55,831	100	2,455,525	260,000
H25	109,339	—	76,743	79,676	100	2,888,327	290,000
H26	114,095	—	78,932	84,996	100	3,224,762	308,572
H27	117,940	—	79,970	89,073	100	3,318,924	308,572
H28	121,404	—	82,843	92,504	100	3,259,687	308,572
H29	124,491	—	87,017	95,395	100	3,295,111	308,572
H30	127,201	—	91,846	97,478	100	3,211,661	308,572
R1	129,177	—	95,942	98,784	100 (10月より150)	3,042,044	348,268
R2	131,717	(66歳以上) 125,404	99,462	96,574	150	1,888,876	198,206
R3	133,435	(67歳以上) 121,144	102,146	93,882	150	1,862,977	218,489
R4	134,169	(68歳以上) 116,469	104,265	90,865	150	1,889,615	222,055

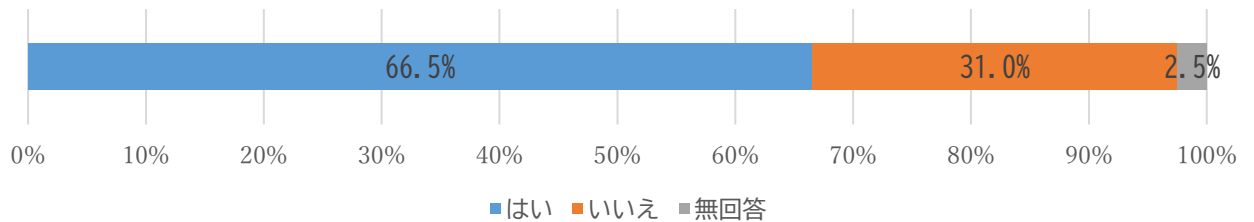
5. 事業の評判・評価

長寿応援バス（旧ワンコインバス）は多くの高齢者に認知され、乗車証取得後にバスに乗車する回数が増えた方が一定程度いるなど、高齢者の健康維持や社会参加、生活支援の点で重要な役割を果たしている一方、近年はコロナ禍の影響もあり、利用者が減少している。

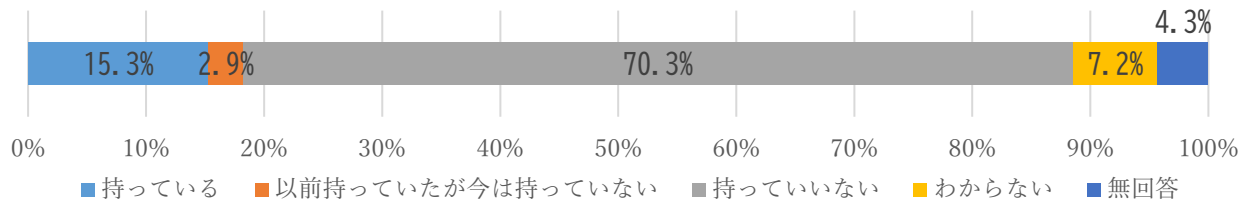
Q 長寿応援バス（旧ワンコインバス）事業を知っていますか？



Q 乗車証を持っていますか？

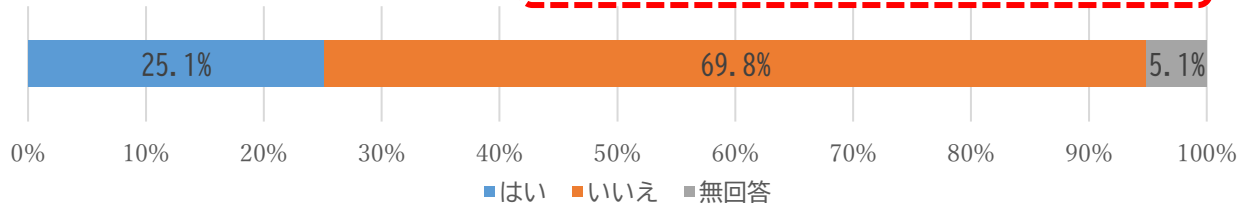


Q 交通系 IC カードを持っていますか？



Q 長寿応援バスを利用していますか？

「はい」の割合 58.5% (H29年3月) → 41.0% (R2.3月)



Q 乗車証を取得後、バスに乗車する回数は増えましたか？

